



## 株式会社日本生物製剤

### 会社説明

母親の胎内で、胎児を守り、育むプラセンタ（胎盤）。  
進化の過程において、哺乳類にのみ授けられたこの組織は、  
生命の誕生や維持に不可欠な生理活性物質を多様に産生し、  
新しい細胞をつくる遺伝子情報のシグナルを司るため、  
生命情報の「ライブラリー」と呼ばれます。

プラセンタ＝生命に与えられた大いなる恵み。  
その秘めたる可能性は、紀元前の昔から注目され、また洋の東西を問わず、  
様々な疾病の治療や健康、若さの維持のために利用されてきました。  
そして今、バイオ・ゲノムテクノロジーの発展とともに  
「再生医学」といわれる最先端の医療分野でもー。

JBP（株式会社 日本生物製剤）は、最新の科学技術を駆使し、  
プラセンタが持つ成分・メカニズムのさらなる解明と、  
医療・健康・美容分野への有効活用を使命とする  
プラセンタ製剤のワールド・リーディング・カンパニーです。

### 会社概要

#### 本社所在地

日本

#### 事業内容

ヒト胎盤製剤「ラエンネック」製造・販売、プラセンタエキス含有医療用医薬品・医薬部外品・健康補助食品・化粧品及びその原体の製造・販売、ヒト胎盤における薬理効果の研究及び新規成分の同定、医療機器の販売

#### 代表取締役

林 泓錫

#### 設立年

1970年10月15日

#### 資本金

80,000千円

#### 従業員数

101 - 500人

#### URL

<http://jbp.placenta.co.jp/>

### オフィス情報

#### メインオフィス

〒1510063

東京都 渋谷区 富ヶ谷 1-44-4